

別記様式

会 議 議 事 録

審議会等の名称	平成25年度 第1回 磐田市環境市民会議 議事録
担当部課名	市民部 環境課 (内線 3126)
会議の開催日時	平成25年12月18日(水) 午前10時00分～午前11時30分
会議の開催場所	市役所西庁舎 3階 特別会議室
出席者(職・氏名)	<ul style="list-style-type: none"> ・委員14名(出席者11名、欠席者3名) 吉岡 庸光、川島あつ江、山下 宏子 川島 春雄、酒井雄一郎、吉田 浩一、溝口 徳、山浦 征夫 影山 教和、松下 忠夫、岡部 秀哉(敬称略) ・(欠席者3名) 神谷五郎、朝比奈 篤、杉浦 精一(敬称略) ・(事務局5名) 市民部長、環境課長、環境保全係長、環境保全係主査(2名)
議 題	<ul style="list-style-type: none"> ・委嘱状の交付 ・副会長の指名 ・平成25年度環境関連施策の実施状況について ・市役所におけるエコアクション21認証・登録の更新等について ・意見交換 ・防災センターの見学
配付資料等の件名	<ul style="list-style-type: none"> (1)平成25年度 第1回磐田市環境市民会議次第 (2)平成25年度 磐田市環境市民会議委員名簿(14名) (3)資料1 環境目標・取り組み方向・取り組み項目別内容等一覧表 (4)資料2 - ~ 2 - 平成25年度 環境関連施策の実施状況 (5)エコアクション21平成25年度環境活動レポート (6)資料3 - 太陽光発電システム設置状況(平成17年度~) (7)資料3 - H25サル目撃情報 (8)資料3 - 県内における微小粒子状物質(PM2.5)の状況 (9)エコアクション21環境活動レポート(平成24年度版)
概 要	会議の発言内容、審議経過等を記載

<p>質 疑 ・ 応 答</p>	<p>会議（司会：環境課長）</p> <p>(1) 開会（環境課長）</p> <p>(2) 新任委員への委嘱状交付</p> <p>(3) 市民部長あいさつ</p> <p>(4) 職員紹介</p> <p>(5) 副会長の指名</p> <p>吉岡会長が副会長に神谷五郎氏を指名した。</p> <p>(6) 吉岡会長あいさつ</p> <p>(7) 議事（議長：吉岡会長）</p> <p>1 平成 25 年度環境関連施策の実施状況について</p> <p>【説明概要】事務局（環境保全係主査）</p> <p>・事務局より資料 1「環境目標・取り組み方向・取り組み項目別内容等一覧表」及び資料 2「平成 25 年度環境関連施策の実施状況」に基づき、環境目標毎に具体的な取り組み項目について説明した。</p> <p>2 市役所におけるエコアクション 21 認証・登録の更新等について</p> <p>【説明概要】事務局</p> <p>・事務局より「エコアクション 21 平成 24 年度環境活動レポート」に基づき、市役所におけるエコアクション 21 の認証・登録の更新等について説明した。</p> <p>引き続き、事務局より最近の環境行政で話題になったことについて、資料 3-「太陽光発電システム設置状況(平成 17 年度～)、H 2 5 サル目撃情報、県内における微小粒子状物質 (PM2.5) の状況」に基づき、内容説明をした。</p> <p>【質疑意見】委員</p> <p>・サルは山の方から来るのですか？</p> <p>【回答】事務局</p> <p>・これが不思議で豊岡地区の目撃情報がほとんどない。2～3 件あると聞いているだけで、いきなり旧磐田市南部東海道線路付近や旧</p>
------------------	--

豊田町など広範囲に出没している。同じ時刻に離れた場所で目撃情報があるので、一頭ではなく複数頭いると考えられる。

【質疑意見】委員

- ・クリーンセンターについて、4月から破砕プラスチックごみが可燃ごみになると聞いているが、これは竜洋の最終処分場の埋立完了への対応なのか、今後、破砕プラスチックごみの焼却することになるが、クリーンセンターの対応強化はあるのか？

【回答】事務局

- ・今回、破砕ごみが焼却に至った理由は、ご承知のとおりクリーンセンターが新築され、焼却炉の性能が向上して、試験的に近隣の自治会を対象に実施してきたところ、破砕ごみを焼却しても環境への影響は増大しないと結果から、この4月から破砕ごみも焼却することとなりました。

【回答】事務局

- ・補足説明をさせていただきます。施設が新しくなったことと、環境に配慮することを考慮して、埋め立てというよりは、むしろ施設及び排出ガスにもまったく問題なければ、燃やした熱を利用することが環境に良いことになる。もう一つは、皆さんご存知のとおり地域に独居の高齢者の方が増えて、汚れた容器包装プラスチックは必ず再生の方をお願いしているが、例えば、マヨネーズのパックを切って、一生懸命洗ってそれを再生していただくことは大事なことです。そうした手間だとか、水を使う量だとか、汚れた排水の問題だとかを考えると、やはり、今、埋め立てている破砕ごみについては、折角100億円もかけて造ったクリーンセンターですから、焼却していくことがベターだろうということで、今回、踏み出さしていただいた。

ただ、踏み出すにあたっては、昨年度から近くの長野地区の方々から試験的にそれを収集し、一旦保管して、ある時期に集中的に燃すというような試験焼却を続けてきた。その試験焼却の状況の排ガス調査を実施してきて、その調査結果をすべて地元公表しながら、

まったく問題ない、むしろ排ガスの値はほとんど上がっていないので、そういったことを含めて、今回、4月から踏み出させていただくことになった。

【質疑意見】委員

- ・それに付随して、エコアクション21環境活動報告書の13ページの(2)廃棄物排出量の発生量のところで破碎ごみが可燃ごみに合算されることになると思うが、評価の仕方が難しくなるのでは？

【回答】事務局

- ・可燃ごみの削減目標の達成は×となっていて、この数字をみると削減を掲げているにもかかわらず、増えている状況にある。特に、用紙類の購入量が増加していることが悩ましいところです。その原因として、市の外注印刷物を減らし経費節減を行っている関係で自前で印刷するだとか、紙の裏面利用ですが、昨今、情報セキュリティが厳しく問われており、うっかり使った紙に個人情報があると大変なことになるので、その辺のリスクを避けたいという意識が強く、裏面利用が少なくなっている。いずれにしても、削減しようという目標が達成されずに、逆に増えている状況であるので、何らかの対策を講じていきたい。

【意見】委員

- ・容器包装プラスチックをきれいにするとき、水をザーザー流している。汚れた水をどうするのといったことが地元の集まりの中で話題になっている。洗って水を汚すのか、洗わずに焼却処理するのか、どちらが環境に悪いのか？また、埋め立てする場所も減少していることから、自宅近くに埋立処分場ができるのも困るなといった意見が雑談の中で話題になっている。

【意見】委員

- ・消費協会の中でこの話がでたときは、折角、分別意識が高まってきたのに心配だとの意見が出された。私たちとしては、どの方法が環境にいいのかを勉強しながら進めていくしかないと思っている。

【意見】委員

・市民レベルの話になりますが、この話は自治会と通してあったが、一番説得力があったのは、破碎ごみを埋める山がないとことが第一要件で皆にとってそうだなといった意見の根拠となった。今回の提案はいいことであったなという印象が地元の自治会の中にあった。クリーンセンターが有効に活用されることの喜びの方が大きかった。

【意見】委員

・エコアクションのことですが、環境マネジメントとして有効なものとして県としても推し進めている。幸い、磐田市は商工会議所が地域事務局をやっていただいております、非常に盛んなところと認識している。全国の中で事業所数が一番多い東京が2番で、静岡県がエコアクションの認証取得件数が一番多いということは、素晴らしいことだと思っている。是非、市として一体となってエコアクションを進めるといことですので、この方向でやっていただきたい。

【意見】委員

・ISO14001が環境マネジメントシステムとしてあるんですが、エコアクションの方は簡易で費用もそんなにかからないで、環境意識を高めながら、自分たちの事業所にとっては省エネになり、経費の節減になるといういいことがある。ISOを維持するよりエコアクションの方がいいという判断があると思う。環境意識を高めるということにお金を使うのであれば、エコアクションはいい制度ではないか。

【意見】委員

・エコアクションのパンフレットを持参したので、皆さんに持って帰っていただき宣伝をしていただきたい。第一番目に言えることは、エコアクションはISO14001の簡易版ではないのですが、内容は類似しており、認証取得費用はISOの1/5から1/10で、登録費用も10人以下ですと5万円、11人から300人までが10万円で、ISOと比較し、まだまだ認知度は低いですが、従業員が3人から1人の事業所でも取得している。これにより、PDCAシステムを使った一番大切なチェックして改善していくという継続的な取り組みができる

	<p>ようになる。認証取得者の話によると認証により煩わしいくどうにかしたいと思ったが、結果として効果があったので、やり続けてよかったなという方がおり、大変うれしかった。</p> <p>【質疑意見】委員</p> <ul style="list-style-type: none"> ・太陽光発電システム設置に、奨励金として2万円の商品券が支給されている。商品券が地元の商店では使えるが、市外では使用できない。何か一考あってもいいのでは？ <p>【回答】事務局</p> <ul style="list-style-type: none"> ・そのようなご意見も聞いているが、市としては地元の商工振興も併せて行おうということで、現金ではなくて商品券でできるだけ地元の商店街を活用していただくという、一石二鳥を狙った政策として実施しているので、ご理解をいただきたい。 <p>【意見】委員</p> <ul style="list-style-type: none"> ・そのような考え方は理解できるが、商品券の使用できる場所をデパートなどにも広げてもらいたいと感じた。 <p>(9) 閉会（環境課長）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・環境課長が閉会のあいさつを行った。 ・今から、昨年度完成した防災センター、ここには太陽光発電施設や最新鋭の防災設備が整備され、大地震も言われているところですので、環境・防災を含めて見学していただきたい。 ・防災センターの施設見学の後、解散した。
<p>備考</p>	<p>環境市民会議を欠席した3名の委員（吉田委員、朝比奈委員、杉浦委員）に翌日、会議資料を送付した。（12/19）</p>